

～親の夏期講習2010 予告メール～

=====
【面白勉強マガジン！】恐ろしい真実 2010. 7. 22
=====

どうも、こんばんは。

ムーチョこと佐々木敬一です。

こちらの地域では、ほとんどの学校が夏休みに入りました。

そして私の塾は、明日から夏期講習に突入いたします。

ですから、本格的に忙しくなる前に慌ててこのメールを書いております。

今回は、楽しくて役に立つイベントのお知らせがありますので、最後まできっちり目を通してくださいね♪

～目次～

【親向け講座】恐ろしい真実

相手を変える唯一の方法

親の夏期講習

【親向け講座】恐ろしい真実

これから、恐ろしい真実をお話ししますので、覚悟して読んでください。

わかっている方にとっては、当たり前の事実ですが、そうでない方には、
「あな、おそろしや」

の世界です。

その前に。

最初に2つほど質問があります。

<質問1>

あなたのお子さんは、塾の夏期講習を受けますか？

<質問2>

あなたのお子さんは、塾で習ったことを家で復習する習慣が
ついていますか？

質問1でYes、かつ、質問2でNoの方、

このままでは講習費の大半をドブに捨てることになります。

講習費、決して安くはありませんよね？

でも、少しでも勉強になるなら、という願いを込めて、
捻出なさっているのだと思います。

そんな切ない願いを込めた親御さんに
冷水を浴びせるようなことをあえて言うのは、
夏休み明けに後悔してほしくないからです。

ちょっとたとえ話を。

ここにコップがあるとします。

これから、
そのコップに水を入れて飲もうと思います。

そのコップの底に穴が空いていたら、
どうでしょう？

当然、どんどんこぼれるので、水はちっとも
飲めません。

復習をする習慣がない、ということは、
「コップの底に穴が空いている」状態です。

その水が、富士の天然水であろうが、水道水であろうが
飲めないことには変わりありませんよね？

「富士の天然水」のように素晴らしい講義を
高いお金を出して受けたとしても、
穴だらけのコップ状態で臨んでしまったら、
まるで意味がないのです。

講習費を無駄にしないためにも、
なんとしてでも復習を徹底させてください。

復習と言っても、特別難しいことをさせる必要は
ありません。

講習のテキストで扱った問題や小テストなどを
家で解きなおすだけでも、十分復習になります。

時間もたいしてかかりません。
こういう、ちょっとしたことができるかどうかで、
大きな差がつくのです。

せっかくの夏期講習です。
徹底的に利用しましょう。

「それはわかるけど、素直に言うことを聞いてくれないから、
困ってるんじゃないの」という方は、次の記事へGo！

相手を変える唯一の方法

「正しいことを言えば相手はわかってくれる」
と頑なに信じている痛い人がいますが、
可哀想な限りです。

子どもに対してはなおさらで、
「勉強しなさい」
「ゲームばかりやってはいけません」
「あいさつをしなさい」
などという正論は、ほぼ効き目がありません。

親子に限らず、人間関係の基本は、
「まず、自分が変わる」
です。

ユダヤ教の神秘主義思想に「カバラの知恵」というものがあり、
「嫌な相手を改心させる方法」を具体的なステップで
教えてくれています。

ステップ1 「罪」「悪」などを相手に感じる

ステップ2 自分の中にあるその要素を分析する

ステップ3 自分の中にあるその要素を改める

つまり、相手を変えるのではなく、
自分の中にある「相手と共通の要素」を改めることによって
相手に気づかせる、という方法なのです。

神秘主義思想というと、非論理的な印象がありますが、
実はこれはかなり理にかなっています。

まず、相手の中に「罪」「悪」の要素を感じる、ということは、
自分の中にも、同じような要素がなければ不可能な話です。

これは、人によっては受け入れがたいことだと思いますが、
どうやら真実のようです。

自分の中に似たような要素がなければ、相手のそういう部分は
認識できないのです。

ほら、よくドラマとか漫画とかに出てくるじゃないですか、
超天然で、超純粋なキャラの人。

ああいうキャラの人って、相手の悪意に全く気づかないですよ？
見ている我々が「おいおい、大丈夫かよ」ハラハラするくらいに。

超純粋な人は、自分の中にそういう要素が全くないので、
相手の悪意を認識できないのです。

逆に言うと、相手の悪いところに気づく人は、
その、悪いところを多少なりとも持っている、
ということになるのです。

やっかいなことに、人間の深層心理には「抑圧」という
便利な機能があるので、今言ったようなことは
なかなか自覚できるものではないのですが。

エラソーに書いている私自身、もちろん同じで、
いつも「あいつが悪い。俺の中には、そんなところは微塵もない」
と書いてしまっています（苦笑）

で、「自分の中にあるその要素を改める」と、
どうして相手も変わってくれるのか、というとですね、

これは具体例がないとわかりにくと思うので、
我が家の親子関係に当てはめてお話ししていきます。

カバラの知恵のステップどおりにいきましょう。

ステップ1 「罪」「悪」などを相手に感じる ~~~~~

私は、娘が「だらしない」と思っています。
出したものは出しっぱなし、
玄関で靴を揃えない、
いろんなモノをすぐなくす。

ステップ2 自分の中にあるその要素を分析する ~~~~~

ああ、あるある。私もだらしない（笑）
いや、むしろ、私こそだらしない（苦笑）

ステップ3 自分の中にあるその要素を改める ~~~~~

これで私が、もっとテキパキと片付けなどが
できるようになれば（まだなっていませんが）、
私の娘は、「あ、パパがだらしないなくなった。
けっこう、いいかも。あたしもちゃんとしよう」

と、自分の身を振り返って行動を改善しようとする、
と、まあ、こういうわけです。

日本古来からの言い方を利用すれば、

「人のフリ見て我がフリ直せ」を
子どもの中に芽生えさせる、ということになります。

「そう簡単にいくわけないでしょ？」
という意見には、特に反対しません。

実際、そう簡単ではないと思うからです。

でも、教育者として、この視点は非常に大事だと思っ
ています。

ちょっとでも心がけられるようになれば、
人間関係はかなり改善されるはずです。

さて。

「自分が変わることでしか子どもは変えられない」
という、今のお話に同意してくれる方は、
次に紹介する「親の夏期講習」に
参加してみてください。

きっとお役に立てると思います。

親の夏期講習

登録してくれた方には、「親の夏期講習」という
タイトルのメールを8月末までお送りします。

何通くらいになるかは未定ですが、
少なくとも5通以上はお届けしようと思っています。

ビデオや音声なども使いつつ、
「子どもの行動を変えられる親になるための方法」を
発信していきます。

ほぼ毎回、その回のテーマに沿った宿題を出す予定です。
必ずやってください。

この「宿題」が今回の企画のキモとなります。

合言葉は、

子どもに「宿題はやったの？」と聞く前に、まず自分がやる
~~~~~

です（笑）

料金は、かかりません。

この講習に参加して、宿題をすべてクリアすれば、  
9月には、一皮向けたあなたになっていることでしょう。

そして、あなたが変わるということは、  
必然的にあなたのお子さんも変わる、  
ということになります。

ああ、素晴らしきかな、宿題（笑）

出来るだけ多くの方に参加していただきたい、  
という気持ちがある一方、  
次のようなかたの参加はおすすめできません。

1. 先ほどの「カバラの知恵」の話は全く受け入れられない
2. 宿題なんて、1回もやるつもりはない
3. 精神的に不安定な状態にある

1と2の方については、  
「参加しても意味ないですよ」という程度で済むので  
いいのですが、  
3に当てはまる方は、絶対に参加しないでください。  
~~~~~

というのも、宿題の中には、
精神的な痛みが伴うような、ヘビーなものも
含まれるからです。

人によっては、長い時間抑圧していた
トラウマを引きずり出してしまう可能性も
あります。

「なぜそんな危険なことをさせるのか？」
という疑問には、

親子の関係を根本から変えるには、
ある程度の痛みは避けて通れないから、

とお答えします。

だから、「精神的な痛みをちょっとでも感じるのは嫌」
という方も参加は控えておいたほうがいいと思います。

親の夏期講習に参加すれば、
あなたが確実に変われることは確信していますが、
変わりたくない人には「変わらない自由」もあるのですから。

と、大きく出たところで（苦笑）、
親の夏期講習、参加希望者は、以下のリンクをクリックして、
メールアドレスと名前（苗字のみ、ニックネームでもOK）
を記入の上、「登録」ボタンを押してください。

親の夏期講習・登録フォーム

[link]<http://sasyan.sakura.ne.jp/QR/public/form.php?mid=pss1>

すると、数分以内に

「【親の夏期講習】登録ありがとうございます」
という件名のメールが私から届くことになっています。

もし届いていない場合は、「迷惑メールフォルダ」に
入っていないか確かめてください。

そこにもない場合はメールでご連絡ください。

◆編集後記◆

親の夏期講習、ちょっと面白そうでしょ？

でも、ちょっと脅かすようなことも書いてしまったので、
どれだけの人が参加してくれるか心許ないです。

ほんとはもっと軽い感じにするつもりだったのですが、
書いているうちにどんどん熱くなって、
参加のハードルを上げてしまったような気がします。

まあ、でもいいんです。
軽めのものなら、本屋さんやネットにいっぱい転がって
いますもんね。

そして、いつまでもお手軽なテイストのものばかりに
触れていても、結局は変わらないんだと思います。

ダイエットとか、ビジネスとか、恋愛とか、
他の分野でも同じだと思うのですが、
お手軽なものはそれなりの効果しかないですからね。

と、ぶつぶつ勝手につぶやいたところで、

では、また。

一応、もう一度載せておきます。

親の夏期講習・登録フォーム

<http://sasayan.sakura.ne.jp/QR/public/form.php?mid=pss1>

学習コンサルタント

(ムーチョこと) 佐々木敬一

＝発行者情報＝

発行者：佐々木敬一

住所：神奈川県小田原市鴨宮831-7

電話番号：080-5037-1192

=====
【面白勉強マガジン！】子どもの自殺を食い止めた父親 2010. 7. 23
=====

どうも、こんばんは。

ムーチョこと佐々木敬一です。

2日連続のメルマガなんて、初めてじゃないかしら？（笑）

もちろん、理由があります。

昨日告知した「親の夏期講習」ですが、
高めのハードルにもめげず、多くの方に登録していただきました。
<http://sasayan.sakura.ne.jp/QR/public/form.php?mid=pss1>

で、それが嬉しくて、アドレナリンが大量に
分泌されたようで、自塾の夏期講習中でもある、
という忙しいさなか、
新たに紹介ビデオまで作ってしまいました。

まだ登録していない方はもちろん、
すでに登録済みの方にも聞いておいてもらいたい話
があるので、早めに確認しておいてください。
時間は19分とちょっとです。

ビデオのタイトルは、
「本やネットから教育情報を得ても、うまくいかない理由」
です。

↓こちらをクリックすれば、すぐに見ることができます。
<http://jigakuji shu.com/PSS0/PSS0.html>

勉強熱心な方は、私のメルマガも含めて、教育や学習に関する
いろんな情報を得ていると思います。

でも、その得た情報を実際の子育てに活かしている方は、
決して多くないようです。

その原因と対策を、ムーチョなりの視点で
まとめてみました。

このビデオの中では、

親の夏期講習2010 予告メール

父親の何気ない言動が、危機一髪で子どもの自殺を食い止めた、
という、考えさせられるエピソードも紹介しています。

「本やネットから教育情報を得ても、うまくいかない理由」
<http://jigakuji-shu.com/PSS0/PSS0.html>

親の夏期講習にまだ登録していない方は、こちらからどうぞ。
<http://sasayan.sakura.ne.jp/QR/public/form.php?mid=pss1>

締め切りは特にありませんが、あさっての25日（日）に
正式スタートなので、お早めに。

あとからいつでも解除できるので、迷っているなら
とりあえずG.Oです。

学習コンサルタント
（ムーチョこと）佐々木敬一

＝発行者情報＝

発行者：佐々木敬一
住所：神奈川県小田原市鴨宮831-7
電話番号：080-5037-1192